群馬大学 未来先端研究機構 セミナー
Gunma University Initiative for Advanced Research Seminar

テーマ / Theme

Wntシグナル研究と生化学
～自験例にもとづくタンパク質の機能と翻訳後修飾の解析～

日 時 / Date

2026. 11.13 (金/Fri)
17:00 ~ 18:00



会 場 / Venue

基礎医学棟4階 大学院セミナー室
(群馬大学 昭和キャンパス)

※オンライン同時配信なし
No online simultaneous distribution

講演者 / Speaker

大阪大学 感染症総合教育研究拠点

特任教授 菊池　章　先生

タンパク質の機能は、アミノ酸配列だけで決まるのではなく、他の分子との相互作用や細胞内局在、糖鎖修飾や脂質修飾などの翻訳後修飾によって精緻に制御されている。こうしたタンパク質の性質と機能を明らかにするうえで、生化学的解析は重要な役割を果たしてきた。

Wntシグナル研究は、1970年代のショウジョウバエの遺伝学的解析に端を発し、発生生物学や腫瘍生物学との接点を通じて発展してきた。1990年半ば頃からは、物質間の相互作用やタンパク質の機能解析と翻訳後修飾等、“もの”へアプローチする生化学的解析が開始され、Wntシグナルの詳細な分子基盤が確立した。本セミナーでは、Wntタンパク質の精製やWnt受容体のエンドサイトーシスと細胞内輸送、新規タンパク質の同定とその機能制御に関する私共の知見を、翻訳後修飾の解析に焦点をあてながら紹介する。これらの研究を通じて、生命現象を分子レベルで理解するために、生化学的解析がどのような役割を果たしてきたのか、またタンパク質の性質と機能を実験的に明らかにすることが、どのような発見につながるのかを考えたい。

主催・司会 / Organizer

未来先端研究機構 遺伝子治療学研究部門 二村研究室
原田 昭和　講師
Email: aki.harada ＃ gunma-u.ac.jp
(#を@にご変更ください)

群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

未来先端研究機構
ウェブサイト